

第1回幹事会レポート
(2010年11月7日、昭和音楽大学北校舎3F会議室)

出席者：柳田孝義、吉田泰輔、海津幸子、小倉隆一郎、森下絹代、阿方 俊、生頼俊秀（事務局）
欠席届：下八川共祐、出田敬三、仁田悦朗、中地雅之

協議題目

1. 第6回全国大会収支決算報告

生頼事務局補佐より決算報告があり、了承された。添付資料 参照

今回は基調講演者が外国からの参加であったため謝礼を含めた費用が15万円かかったが、他は例年並みの決算となった。

2. 第6回大会総括

運営に関しては、回数を重ねてきていることと、会場が事務局のある昭和音大であったためスムーズに展開できた。問題点として、電子オルガンの運搬に関する会場側の負担について問題が残った。今後は自己責任として業者を頼むなど、楽器を毀損しないように注意を促す。

内容に関しては、電子オルガンやM.L.のパネルディスカッションの深化に加えシニアに対する電子キーボードのラウンドテーブルが加わるなど多様化してきた。一方において、研究発表も含めて小中学校における学校教育での電子キーボードに関するものが必要なのではないかとの意見が出て、次回の幹事会で検討する。

3. 第7回大会会場

2011年の第7回大会は、東京学芸大学（東京都小金井市）を大会会場とすることを決定した。

会場について、東京学芸大学は第3回大会後に校舎の立替が終了し、AV機器も新しくなり、芸術館も改装され、M.L.教室が新設されているので前回より条件がよくなったとのメッセージが中地雅之先生からあった。

日程は、学園祭とPlagge先生（ザルツブルグ・コンセルバトアール・ピアノ科教授）の来日を考慮して、10月23日、30日、11月6日、13日の4つの候補から近日中に決める。

4. 幹事の欠員と第7回大会実行委員

選挙後欠員となっていた代表幹事からの推挙による幹事は、大会会場校も考慮して学芸大学の中地雅之先生とすることを幹事会として了承した。また、第7回大会の実行

委員を次のメンバーに依頼することを決めた。

中地雅之（長）、小倉隆一郎、富田英夫、田中功一、森下絹代、阿方 俊、生頼俊秀（事務局補佐）

5. 第7回大会スケジュールおよび基調講演者

スケジュールの流れと基調後援者について次のように推進していくことを決定した。

スケジュールの流れは、第6回大会内容（あいさつ、基調講演、総会、パネルディスカッション、研究発表、コンサート）に沿って詳細をつめていく。

基調講演者候補として、Dr.郭宗愷（台湾・東海大学元音楽科長、ピアノ科教授、指揮者）に仮テーマ“ピアノ科学生の電子オルガン学習のメリット”～東海大学電子交響楽団の活動を通して～、という内容で打診してみる。費用は謝礼を含め15万程度ということを了承。

6. 学会名変更とホームページ

学会名変更に伴うホームページ移転は、無料のレンタルサーバーに暫定的に移設済みである。（アドレス：<http://jsek.m.6.q1.bz/index.html>）※ちなみにこのアドレスは、YahooやGoogleなどの検索サイトで「日本電子キーボード音楽学会」「jsek.m」で検索可能なように、再登録手続きを済ませ、既に検索可能になっている。

しかし、これは無料の、しかも私的に運営しているサーバーであることから、将来も安定して使い続けられる保障はない。あくまでも緊急避難の措置である。

そこで、従来使用してきたOCNのレンタルサーバーサービス（有料）でJSEKMのアカウントを取得し、そこに正式なサイトを移転・開設することを検討していく。

7. ニュースレターおよび学会誌

ニュースレター（第6回大会レポート号）を12月中旬発送

ニュースレターは、今後電子メールで配信するようになっていく。そのために現在登録されているメールアドレスを個人別に確認作業を行う。ただ、紙媒体を希望する会員には、若干時間を要することを理解してもらい対応する。

学会誌の発行は、このところ遅れるのが習慣化してしまった。今回、投稿規定が改められたのを機にニュースレターにその内容を再度添えて積極的な投稿を呼び掛けていく。

8. 後援願い

次の2コンサートの名義後援を了承

平成音楽大学・音楽制作コース合同コンサート「音 創造！」（1月29日、平成音楽大学サテライトステージ）

昭和音楽大学・学生自主コンサート「Believed Mind-原動-」(3月13日、テアトロ・ジーリオ)

9. 賛助会員株式会社コルグ訪問

11月17日、株式会社コルグ(東京都稲城市)を学会としてのあいさつを兼ねて柳田代表幹事と阿方事務局長で訪問した。コルグ社は加藤会長、加藤社長、三枝取締役が対応して有意義であったと柳田代表より報告があった。

10. 海外情報

阿方事務局長から以下の情報提供があり、今後、どのように外国諸機関と関係するか、今後の課題とすることを確認した。

- ① APEKA (Asia Pacific Electronic Keyboard Association) 設立大会
- ② USC(南カリフォルニア大学)における電子オルガン科開設の可能性
- ③ (社)韓国室内オペラ連合のオペラ・フォーラムでの電子オルガン伴奏形態の発表

11. その他

第2回幹事会日程は、3月26日を第1案、3月5日を第2案として幹事各位の都合を聞いて決定する。

第6回全国大会収支予算

収入

項目	金額	内訳	内訳金額	算出根拠	第5回実績	増減
大会参加料	115,000	会員・一般	60,000	60	43,000	17,000
		会員・学生	2,500	5	1,500	1,000
		非会員・一般	45,000	15	6,000	39,000
		非会員・学生	7,500	5	1,500	6,000
収入計	115,000		115,000	85	52,000	63,000

支出

項目	金額	内容	内訳金額	算出根拠	第5回実績	増減
謝金	80,000	基調講演	30,000		30,000	0
		アルバイト	50,000		78,400	-28,400
交通費	5,000	講演者、アルバイト	5,000		0	5,000
委託費	20,000	運送、調律	20,000		12,820	7,180
印刷費	50,000	パンフレット、紙資料	50,000		47,869	2,131
会場費	50,000		50,000		0	50,000
雑費	5,000	事務用品、他	5,000		2,925	2,925
飲食費	30,000	弁当、飲み物	30,000		30,992	-992
制作費	5,000	録音等	5,000		0	5,000
懇親会	80,000	1000円×80人	80,000		80,000	0
資料代	5,000		5,000		2,664	2,336
費用計	330,000				285,670	44,330

収支	-215,000 (第5回 -233670)
----	-------------------------------

第6回全国大会決算書

収入

項目	金額	内訳	内訳金額	人数	対予算
大会参加料	115,000	会員・一般	47,000	47	-13,000
		会員・学生	1,500	3	-1,000
		非会員・一般	21,000	7	-24,000
		非会員・学生	0	0	-7,500
収入計	69,500		69,500	57	-45,500

支出

項目	金額	内容	内訳金額		対予算
謝金	150,000	基調講演	150,000		120,000
	100,300	アルバイト	100,300		50,300
交通費	0	講演者、アルバイト	0		-5,000
委託費	0	運送、調律	0		-20,000
印刷費	46,095	パンフレット、紙資料	46,095		-3,905
会場費	50,000		50,000		0
雑費	0	事務用品、他	0		-5,000
飲食費	32,488	弁当、飲み物	32,488		2,488
制作費	0	録音等	0		-5,000
懇親会	82,668	1000円×80人	82,668		2,668
資料代	0		0		-5,000
費用計	461,551				131,551

収支	-392,051 (第5回 -233670)
----	-------------------------------